

コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

育成する人物像

確かな子ども観・保育観を持ち、乳幼児の遊びの創造を求め、自律的に学び続ける保育者



教育目標

幼少期の成長発達を高めていく力を身につけ、人間の基礎を培う保育・幼児教育ができる人材を育成します。

コア・カリキュラムとそれを構成する科目

保育・教育理論の体系的な習得

小学校教育を見通し、幼児教育・保育者としての役割などの理解
人間の成長発達と保育・教育
その基礎理論の理解

科目：保育者論 保育原理



ミュージカル上演活動

表現力の高揚・成し遂げる忍耐・演じ終える感動を体感で獲得しています。

保育の方法・技術の習得

乳児から幼児へと発達を促す保育方法の理解と発達を支援する技術の習得
保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解

科目：保育課程論 保育方法
保育内容（言葉）

確かな子ども観保育観を持ち、乳幼児の遊びの創造を求め自律的に学び続ける保育者の育成

各種施設での意図的体験の蓄積

観察・参加実習から創造実習へと進む現場学習、保育所、児童福祉施設、幼稚園と多様な現場実習を重ね、幼児理解を深め、対応力を高める

科目：保育実践演習 保育実習 幼稚園教育実習



保育内容（言葉）

5領域のそれぞれの授業は、演習を中心にして学び、遊びの創造を追究に繋げています。

入学前の学習支援プログラム

基礎的知識の復習とものの見方・考え方を深め、表現力を高める等、入学後に備え学習支援していきます。

その内容は保育・教育入門講座と自分の興味・関心や得意・不得意に合わせて国語、社会、数学、理科、情報の基礎講座5科目から選択で、課題学習を行い、添削指導によって、専攻への意識作りと入学後の円滑学習に繋がります。

コア・カリキュラムについて

0歳から6歳の人間としての土台を培う時期の保育者教育者としての資質を養うべく成長発達過程を学び、豊かな心を育む保育に使命感をもって関わることでできる保育者の養成をめざし、理論と実践を往還させながら自律的に学習をしていきます。

特に、豊かな心の基となる表現力を育むために、保育者としての重厚な表現力を求め高める活動を、保育内容(身体・言葉・表現)の授業の関連化を図りながら、ミュージカル活動に発展させていきます。

コア・カリキュラムと指導目標・評価について

授業科目：保育内容（言葉）

開講学年：2年後期

- 学習内容：①保育内容5領域の一つである「言葉」について幼稚園、教育要領が示す内容を理解する
- ②乳児期から幼児期の言葉の発達について、その概要を理解する
- ③言葉の発達を促す環境作りの内容や方法を理解する
- ④言葉の発達を促す具体的な「遊び」の技能を演習によって身につける
- ⑤遊びの発展・連続ある遊び方を、創意工夫する

評価項目：I 自己評価・グループ評価

II 教員による評価

履修前後の学習内容評価の達成状況

授業科目：保育内容（言葉）

開講学年：2年後期

- 達成レベル：①説明できない、分からない
- ②説明はするが断片的である
- ③一般的な説明程度はできる
- ④幼児の発達と関わって説明できる

- 評価項目：①幼稚園教育要領の理解度
- ②幼児期の言葉の発達の理解度
- ③言葉の発達を促す遊ばせ方の理解度
- ④絵本の活用の技能力
- ⑤言葉と関わる発展遊びの創意工夫度